

「女性の健康週間」企画講座

沖縄から考える がんのこと 乳がんのこと わたしたちにできること



国民の2人に1人が、がんにかかる時代です。

日 時：2026年3月7日(土)14:00～16:00

会 場：なは女性センター学習室

対 象：関心のある方

定 員：36名（事前申込/先着順）

参加費：無料

手話通訳は2月21日(土)17時までにお申し込み下さい。

(那覇市在住、在勤、在学の方が利用できます。)

お申し込みはこちらから



宮里恵子さん

社会医療法人仁愛会 浦添総合病院 乳腺外科副部長

日本外科学会外科専門医・指導医、日本乳癌学会乳腺専門医・指導医、臨床遺伝専門医、日本がん治療認定機構がん治療認定医。特定非営利活動法人「沖縄がん教育サポートセンター」の活動を通じて、医療者だけでなく若い世代に向けたがん教育にも積極的に取り組んでいる。近年は、医学の進歩とともに重要性が高まっている遺伝医療にも力を入れ、臨床遺伝専門医として、遺伝性乳がんを含むがんの体質や家族への影響に関する相談・診療を行っている。



女性の9人に1人が乳がんにかかると言われています。その中でも沖縄県は乳がん罹患率が全国トップクラスであり、年間1,200人以上の方が新たに乳がんと診断されています。さらに、乳がんによる死亡率も高いと報告されています。しかし、早期段階で適切な診断を受け、正しい治療を受ければ、完治する可能性の高いがんなのです。日常生活の中で乳がんに関心を持つ習慣を身に付け、セルフチェックを行ってみませんか？またがん経験者の話を聞くことで乳がんの予防や早期発見への意識を高めるきっかけになります。自分の健康を守る一步を、今日から始めてみましょう。

経験者 玉寄育子さんからの講話もあります。



なは女性センター（那覇市総務部平和交流・男女参画課）
〒900-0004 那覇市銘苅2-3-1 なは市民協働プラザ1階
TEL: 098-951-3203 FAX: 098-951-3204 代表メール: s-heidan002@city.naha.lg.jp